

"Trinite"

壺井彰久 violin
 北田学 bass clarinet
 井谷享志 percussion
 shezoo compose, piano

2022 08月14日 (日)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無) (1drink=600~)

MC=4000+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



shezoo

16歳でミュンヘン国立音楽大学に入学。情景や映像を喚起させるアーティストとして多様な形で音楽を生み出す。その音楽は美しく、懐かしく、妖しい世界へと聴くものを誘う。CM、映画、舞台の作曲、アートとのインスタレーション。バンドとしては「トリニテ」「透明な庭」「夜の音楽」「砂漠の狐」「倭文織」「Loco por ti」他に参加、様々なアーティストとの共演、楽曲提供を行う。2018年絵画、朗読、音楽によるアンデルセン「絵のない絵本」、夏目漱石「夢十夜」の制作、音楽監督を担当。2021年2月に上演された「マタイ受難曲 2021」の企画、編曲、脚本、音楽監督を担う。オリジナル作品を集めたアルバムとして「nature circle」「月の歴史」「神々の骨」「prayer-sabato santo」「Invisible Garden」および音楽担当映画、舞台のサウンドトラック、DVDのリリースがある。
shezoo.cocolog-nifty.com



壺井彰久

ロックからケルト、アラブ音楽までをその驚異的なテクニックと美しいトーンで「奏破」するヴァイオリニスト。自己のプログレッシブロックバンド「KBB」を率い、アメリカ/フランス/ポルトガル/メキシコなどの海外フェスにも出演し好評を博した。KBBの活動と平行してEra (壺井彰久/鬼怒無月デュオ)、オオフジツボ、WAWAWAWA (吉見征樹リーダーバンド)、一噌幸弘グループ、Trinite等にも参加。アコースティックでの豪快で繊細なプレイに加え、エレクトリックヴァイオリンを使用した独創的な音作りでも世界から注目を浴びる存在である。好きな食べ物: カフェブルマンのスパイシー・ナポリタン。
<http://tsuboy.com/>



北田学

元々のスタートはクラシックのクラリネットの先生に手ほどきを受けるところから。中学の頃は真面目にレッスンを受けていたけれど、高校では何か違うことがしたくて、漕艇部に入るというアクロバティックな転向をした。その後、なんとか工業大学に潜り込み、ジャズ研に入り浸ってクラリネットのことは一旦忘れ、サックスを吹くようになる。6年ぐらやって、ある時耳にしたミシェル・ポルタルのバスクラリネットに衝撃を受けて、バスクラリネットを独学ではじめた。やがて、サックスを演奏するのをやめて、クラリネットに専念する。そして、自分の好きな音楽を自分の好きな音楽家と演奏することになった。その頃にピアニストの伊藤志宏にアコーディオンを弾かせて始めた audace は今も続いている。



井谷享志

既存の領域にとらわれない独自の感覚と幅広い表現力で、国内外の様々なライブ、レコーディングに参加。舞踏家や映像作家、画家、詩人など、ミュージシャン以外のアーティストとのパフォーマンスや制作も積極的に行っている。藤井郷子 (ピアニスト、作曲家) と田村夏樹 (トランペッター、作曲家) とのプロジェクトではヨーロッパ、北米、南米、日本、カナダでツアーを行う。クール・ジャズの重鎮テッド・ブラウンの来日ライブレコーディングに平井庸一セクステットのメンバーとして参加。ジャズドラマー大坂昌彦プロデュース「Novie / Confetto」のレコーディングに参加。宇多田ヒカル「Hymne a l'amour ~ 愛のアンセム~」(菊池成孔プロデュース)のレコーディングに参加。個人の活動としては、自己音源「なんか夢みたい」を発表。自身のソロパフォーマンスでフランス、リールに招致される。
<http://itanitakaside.gozaru.jp/>